



災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

活動報告

北海道足湯隊



当法人では、平成 30 年北海道胆振東部地震に際し、北海道内外の 11 団体からなる「北海道足湯隊」の事務局を担い、社会福祉法人中央共同募金会が行う「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（通称：ボラサポ）」の採択を得て、2018 年 9 月 24 日から 2019 年 3 月 31 日までの期間、「被災者のための心身のケアとコミュニティ形成支援活動」を行いました。

活動の趣旨

- 2018 年 9 月 6 日に発生した北海道胆振東部地震の被害を受けた、安平町・厚真町・むかわ町において、長期化する避難生活における心身へのケアに取り組み、被災者個々に対する支援コミュニティの醸成に努めるため、避難所を中心に「足湯」を行います。
- 避難所や地域コミュニティに赴き、被災した方々と直接かかわる活動のため、足湯活動を継続的かつ主体的に行う団体及びその構成員を登録し、安心して活動を受け入れてもらえるよう努めます。

活動の対象

- 安平町・厚真町・むかわ町の指定避難所及び自主避難所の避難者
- 応急仮設住宅入居者やその周辺住民
- 自治会・町内会や自主グループ
- 被災者支援を行う支援者

北海道足湯隊構成団体

	団体・活動母体	チーム名等	付記
1	真宗大谷派北海道教区	災害支援ネットワークじゃがネット	
2	札幌市立大学	学生・教員有志	
3	末日聖徒イエス・キリスト教会	ヘルピングハズ足湯隊	
4	NPO 法人北海道 NPO サポートセンター	北海道 NPO サポセン足湯チーム	
5	一般社団法人北海道介護福祉士会		
6	一般財団法人北海道難病連		
7	一般社団法人北海道精神保健福祉士協会		
8	一般社団法人 Wellbe Design	Wellbe Design 足湯チーム	事務局
9	認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク		アドバイザー
10	東北大学足湯隊		
11	認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード		

協働団体

	団体・活動母体	付記
1	一般社団法人いっぽん	マッサージ活動
2	天使のつめきり札幌	爪切り・フットケア活動

活動内容

1) 足湯活動による心身のケア

被災直後より、各3町の避難所や、仮設住宅の談話室を活動場所とし、避難された方や、仮設住宅の入居者、在宅で避難している方に対し、足湯や手のマッサージを行うことで、心身へのケアに取り組みました。また、足湯と共にお茶会スペースを設け、被災者の方々がゆっくりとお話できる空間を用意しました。



2) つぶやきを受け止め、つなぐ

被災された方と足湯を通しながらコミュニケーションを図ることで、生活する上での不安や身体状況の変化をお聞きし、その声を“つぶやき”として記録しました。拾ったつぶやきは、被災地で求められているニーズとして、町の保健師や、社会福祉協議会の職員と情報共有することで、その後の新たな被災者個々に対する支援活動の展開に反映されています。

3) 足湯隊相互のネットワーク形成

現地での活動の他、月1回のミーティングを行い、活動隊員同士で状況共有を図っています。

現在では、各町主催のイベント企画、住民組織の企画、支援者同士の企画とのコラボを行うなど、長期的な支援活動へと発展してきています。



活動実績

1) 支援対象者 約 230 人 のべ約 350 人

2) 活動回数 232 回

※2018年9月24日～2019年3月31日まで

活動の成果

活動当初は、避難所の活動が主だったため、対象者からは住宅被害の状況や、身体状況の変化、今後の生活の不安について、お聞きすることが多く見られました。

11月以降は、仮設住宅での生活が始まり、元々他地区で生活されていた方達との生活に対し、住民同士の関係性の構築に悩みを抱える方や、冬季の仮設住宅の使用方法に悩みを抱えている方がいました。

避難所から仮設住宅へ生活拠点が変わっていく中で、見受けられた生活課題については、町の保健師に伝えることで、被災者個々に対する支援活動に反映することが出来ました。また、定期的に活動を継続することで、対象者の方にも顔を覚えてもらうなど、北海道足湯隊の活動に参加するリピーターの方も増えてきています。足湯活動の場を通して、久しぶりに顔を合わせる住民の方もおり、住民同士の交流の機会になっていると感じています。

1月以降は、仮設住宅の談話室の他、各町主催のイベント企画や、住民組織の企画などと、コラボ企画として実施することで、多世代の方に参加してもらうことが出来ました。

今後の課題は、平日活動できる隊員が少ないため、新たな隊員の確保を行うこと、継続した支援活動が展開できるように、各町との情報共有を図っていきたいと考えています。



助成金の使途

1) 通信費	16,264 円	構成団体及び足湯隊員との通信費用等
2) 運搬移送費	40,638 円	従事車両のガソリン代、高速費用等
3) 物品・資材費	125,691 円	文具及び足湯構成団体用活動ファイル等消耗品の購入費用等
4) 印刷費	9,950 円	パソコン周辺機器及び Omoidori Project 用の機材購入費用等
4) 備品費	110,760 円	足湯ミーティングや配布資料の印刷費用等
5) 設備費	37,800 円	足湯隊員の法被及び幟の作成費用等
6) 人件費	282,000 円	有償スタッフ 3 名の人件費
合 計	623,103 円	(内、助成金充当額 620,000 円、自己負担額 3,103 円)

お礼

今回は貴重なご寄付をいただきありがとうございます。

皆様のご寄付より、被災者の方へ足湯活動を通して、支援活動を行うことができ、地域の方達との大切なつながりを作ることが出来ました。

震災から半年が経過しましたが、被災地では復興に向けて動いています。

これからも、北海道足湯隊として住民の皆さんへ継続的な支援が行えるよう取り組んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

2019 年 3 月 31 日

「北海道足湯隊」事務局

篠原 辰二

写真提供：認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、認定特定非営利活動とちぎボランティアネットワーク、真宗大谷派(東本願寺)北海道教区 災害支援ネットワーク「じゃがネット」